



白熱した取組で盛り上がったわんぱく相撲奄美大島場所。右は6年生の部で優勝した市来崎大祐君

出身地別力士数

出身地	人数
1 東京	52
2 愛知	41
3 大阪	37
4 福岡	35
5 兵庫	34
6 鹿児島 (奄美群島)	33 (17)
7 神奈川	27
8 千葉	25
9 埼玉	23
10 福島	21
31 沖縄	7
- 海外 (モンゴル)	34 (22)
合計	671

*順位は都道府県別に見ると、人口の多い東京や愛知などに続き、鹿児島が33人で6位。このうち17人を、人口11万人の奄美群島が輩出している。以前から相撲が盛んで、横綱を出したこともあり、近年は角界入りする若者も増加傾向にある。「相撲どろ」となった理由を探るべく、奄美群島へ飛んだ。(運動部 波多江航)

東京・西国国技館で開催中の大相撲夏場所で、鹿児島出身の4人が十両の土俵に上がっている。全力士を出身都道府県別に見ると、人口の多い東京や愛知などに続き、鹿児島が33人で6位。このうち17人を、人口11万人の奄美群島が輩出している。以前から相撲が盛んで、横綱を出したこともあり、近年は角界入りする若者も増加傾向にある。「相撲どろ」となった理由を探るべく、奄美群島へ飛んだ。(運動部 波多江航)

奄美出身力士光る

奄美大島の奄美市立名瀬中で4日に行われた「わんぱく相撲奄美大島場所」。夏の全国大会の予選を兼ねた大会で、群島各地から集まった小學生約90人が活気のある取組で会場を沸かせていた。

1斤70、110キロの堂々たる体で6年生の部を制したのは、徳之島相撲クラブの市来崎大祐君(11)。全国大会の4年生以下の部で優勝歴もある。今年は日本一を目指して週5日の稽古に励む。例年、群島の子どもが全国大会上位に名を連ねており、「学校でもみんなに試合結果を聞かれるからアレッシャーです」。

同クラブから角界に進んだ先輩が三段目と序二段になる。また、1962年まで土に名から、郷土を誇る気持ちがうかがえる。昨年11月の九州場所で十両昇進を決め、姓の坂元から改名した大奄美関(24)(追手風部屋)は1斤85、181キロと、奄美群島出身力士ではひときわ大きい。日本大職員時代に実業団横綱となり、昨年1月の初場所で幕下15枚目格付け出しへデビューした期待の星だ。

学校・公民館に土俵 幼少から親しむ

奄美大島出身で大器として期待される大奄美関(18)、両国国技館で)=若杉和希撮影

しき名から、郷土を誇る気持ちがうかがえる。昨年11月の九州場所で十両昇進を決め、姓の坂元から改名した大奄美関(24)(追手風部屋)は1斤85、181キロと、奄美群島出身力士ではひときわ大きい。日本大職員時代に実業団横綱となり、昨年1月の初場所で幕下15枚目格付け出しへデビューした期待の星だ。

実業団横綱「大奄美」期待の星

中学生までは地元で活躍したが、群島内の高校には相撲部がない。創部しても、ともに本格的に相撲を始めるに、持ら前のかから「相撲を取ってみる」と言われた」という。小学2年生の時、2歳上の兄とともに本格的に相撲を始めた。大奄美関も中学卒業と同時に島を出た。鹿児島商高(鹿児島市)を経て日本大へ。中学の先輩で、憧れの部屋」と同じ経歴をたどった。

奄美群島 九州本土と沖縄の間に位置し、鹿児島県に属する。長さ約200キロにわたって奄美大島、喜界島、徳之島、与論島など八つの有人島が連なっており、総面積は約1,231平方キロ。市町村で構成される。サトウキビや肉用牛の生産が盛ん。



奄美大島の龍郷町にある自宅裏の公民館に土俵があり、幼い頃には「よく祖父

から「相撲を取ってみる」と言われた」という。小学2年生の時、2歳上の兄とともに本格的に相撲を始めた。大奄美関も中学卒業と同時に島を出た。鹿児島商高(鹿児島市)を経て日本大へ。中学の先輩で、憧れの部屋」と同じ経歴をたどった。

群島出身力士の中で最年長の里山関も、十両の地位を守っている。大奄美関は里山先輩を筆頭に、もっと奄美の相撲を盛り上げていきたい。今度は自身の背中を追う子どもたちのためにも、さらなる活躍を誓う。

儀を務めた第46代横綱朝潮、「南海のハブ」の異名を取つた元小結の旭道山も、徳之島出身。市来崎君も「将来は闘出で、市長に選ばれて、相撲に取扱われる」と夢を膨らませる。

鹿児島県相撲連盟大島支部によると、群島では少しずつの中学校や公民館に土俵があり、体育の授業でもまわしを縮める。同クラブで指導する吉健介監督(63)は「大人も子供も集落の祭りで相撲を取るので、小さい頃から興味を持ちやすい」と説明する。

なぜ、これほど相撲が普及したのか。実は、もともと群島で盛んだったのは「ウチナーリジマ」とも呼ばれる「沖縄角力」に近いものだった。沖縄に近く、かつては琉球王朝の支配下にあったからだ。ただ、沖縄角力は道着を着て最初から右四つに組んで投げ合う競技で、土俵に立つて代官の前で披露する手も多い」という。

それが、群島では少しずつ相撲に取扱って代わられた。奄美市立奄美博物館の久伸博館長によると、江戸時代初期に薩摩藩の直轄領となり「祭りなどで代官の前で披露する事務局長によると、相撲ほと全く別物で、柔道と兼ねる選手も多い」という。

それが、群島では少しずつ相撲に取扱って代わられた。奄美市立奄美博物館の久伸博館長によると、江戸時代初期に薩摩藩の直轄領となり「祭りなどで代官の前で披露する事務局長によると、相撲ほと全く別物で、柔道と兼ねる選手も多い」という。

それが、群島では少しずつ相撲に取扱って代わられた。奄美市立奄美博物館の久伸博館長によると、江戸時代初期に薩摩藩の直轄領となり「祭りなどで代官の前で披露する事務局長によると、相撲ほと全く別物で、柔道と兼ねる選手も多い」という。